

クリーンセンター建て替え

コミセン勉強会(第3回) 報告書

日時 : 平成21年2月12日(木)
場所 : 境南コミュニティセンター 会議室
参加者 : 一般 21名
委員 4名 (橘委員・広江委員・石黒委員・早川委員)



参加者の方より多くの質問・意見が寄せられ、委員・事務局との意見交換が行われました。

■ 廃プラの焼却による問題はないか？

運営協議会・周辺住民のチェックの元、試験焼却を重ねた上で廃プラの焼却を開始した。各地域で土を採取しダイオキシン濃度などの検査を行っているが、人体に問題が出る量からははるかに小さい値となっている。建設当時、運営協議会の方々と共に当時の水準で最も厳しい排出基準として、当時の最新設備を導入した。その後、各地でダイオキシンの問題が出てきた時に、バグフィルターを設置した。現状では、最新鋭の施設とほとんど変わらない設備で排出するガスの洗浄・ろ過を行っている。

■ チャレンジ700gが達成できたらどうなるのか？

ごみ有料化前の平成16年度の焼却ごみ量は40,533t。有料化後の平成17年度は37,701tで、一人当たりの排出ごみ量は761g。平成19年度の焼却ごみ量は36,377tで、一人当たりの排出ごみ量は一日729gとなっており、確実に減っている。平成20年3月に作成された「武蔵野市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」によると、ごみ減量の更なる推進により、平成29年度には一人当たりの排出ごみ量を680gにするとしており、その量を基準に新施設の建設計画を推進することになっている。つまり、チャレンジ700gを達成し、さらに680g以下にしなければ、新しいクリーンセンターの処理能力を超えてしまうことになり、達成することを前提としている。

■ **新しい施設も、30年経過した時点で建て替えることになるのか？**

委員会で研究・議論をしているが、現在の施設については設備の入れ替え等による更新工事が実質的にできない事が分かりつつある。しかし新施設においては、ライフサイクルコストの概念を採用し、建物を出来る限り長く利用できる形で建設することも、委員会において検討中である

■ **ごみを減らすことについて、一般市民にPRがほとんどなされていない。市として掲示板などを作るべきである**

「クリーンむさしのを推進する会」が市とともに「朝一番隊」として日曜日の朝に拡声器を使って市内でPRをしている。また「ごみ減量協議会」にて、ごみの減量を実際的に推進していく術を検討中である。掲示板については、ごみ総合対策課とともに検討をしたい。



■ **是非とも、ごみ発電は行っていただきたい。**

国の方針として、新しいごみ焼却施設には発電施設を設置するようになり、地球環境を守るためにも発電は行うべきであると考えている。

今後の予定

(第四回)平成21年3月12日(木)14:00~15:30 吉祥寺南町コミセン